

活動名：第19回田村市かぶと虫杯常葉カップ少年サッカー大会U12

日程：令和2年7月23日（木祝）

会場：田村市陸上競技場

参加：6年生+5年生選抜4人（リフティング上位者）

帯同：設楽、貝和コーチ

結果：優勝/12チーム中

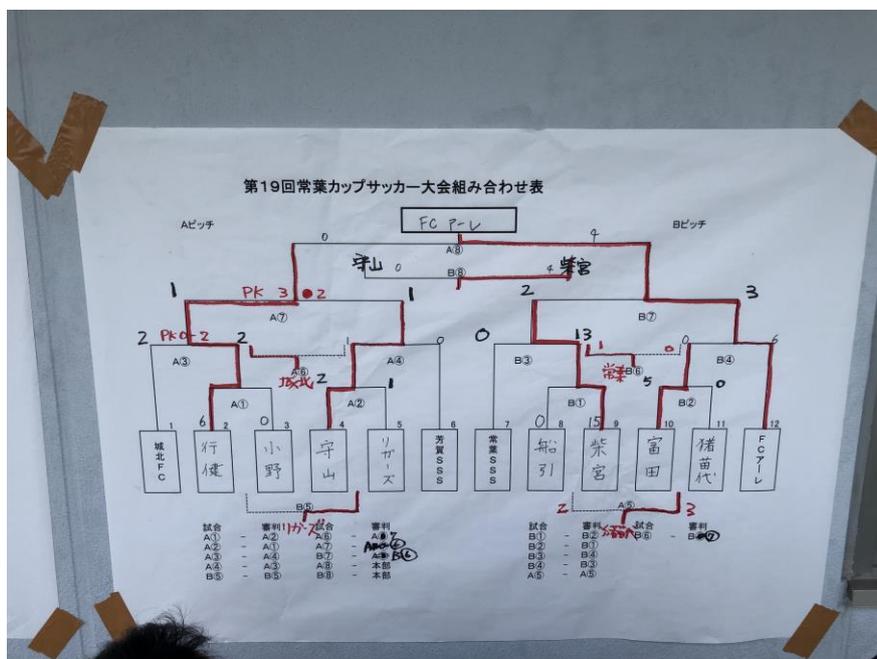
報告：設楽

一回戦・・・シード（前年度準優勝枠）

二回戦・・・VS 富田 SSS 6：0

準決勝・・・VS 柴宮 SSS 3：2

決勝・・・VS 行健 SSS 4：0



今回の6年生が中心で挑む大会と位置づけ、6年生の参加者が8人ということで、助っ人として5年生のリフティング上位者4名を募り計12名の選手でこの大会に挑みました。

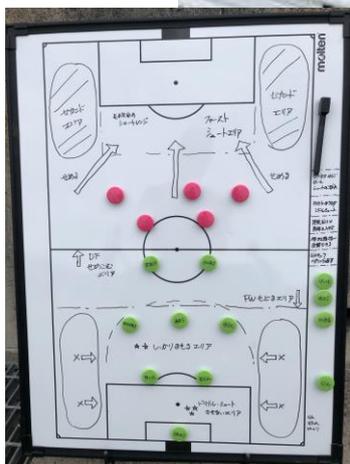
コロナ禍で大会が中止になる中、常葉 SSS さんのご尽力により、万全なコロナ対策運営によって大会が開催されました。例年2日間で初日予選リーグ、二日目順位トーナメントですが、今年は一日間でのトーナメント戦でした。

会場に入る時の検温チェックやアルコール消毒の徹底、開会式は無し、選手の練習や試合以外は常にマスク着用など、例年とは違う状況での大会でしたが、選手たちはコロナ再開から間もない体力的にも厳しい時期でしたが、全力で戦ってくれました。

大会は前年度の結果からシード 4 チームがトーナメントの隅に配置され、アーレは右隅で一回戦を見守りながら待機していました。シード以外は抽選で枠が決まりました。8:15 集合で試合時間は 11:50 からと三時間以上の待ち時間の使い方が今回の試合運びのポイントになると思い、日陰でしっかりと対戦すると思われるチームの様子を偵察しながら待ちました。



初戦の相手が富田 SSS さんに決まり、試合開始 1 時間前からアップを開始しました。相変わらずスイッチが入らない、ゆるゆるの様子から、試合に挑む気持ちにさせる雰囲気づくりに努めることに苦労しました。卒団生から贈呈いただいた大きな作戦ボードを使い、コロナ禍で試合感が薄れている選手たちにわかりやすく戦い方を説明しました。



初戦の選抜メンバーはやはり6年生中心で構成して挑みました。相手は2戦目で動きがよく、しかしこちらも最上級生たちで貫禄あるプレーで攻め込みまくりながらも、なかなか得点ができず焦り始めましたが、気持ちを落ち着かせ前半が終わる間際には得点ラッシュとなり後半は5年生たちも出場させることができ全員で初戦を突破しました。



準決勝は初戦 15：0、二回戦は 13：0 と大量得点で勝ち上がってきた柴宮 SSS さんとの戦いでした。

アーシの初戦はお昼前のスケジュールでしたので、試合後は昼食タイムとし、しっかりとご飯を食べて休憩してから 14：00 キックオフの試合に準備しました。



準決勝の柴宮戦前の練習では、「食い過ぎた〜」、「怠い〜」など、これから戦いに挑む様子が全く感じられず、大丈夫なのかなと心配するほどでした。

相手の柴宮 SSS さんはアーレより早くからアップを開始して、しっかりとミーティングを行い準備しているようでした。その様子をわざと意識して何度となく見させ、あのチームとこれから戦うんだぞと気持ちを高めさせて試合前までに何とか戦う姿勢が出てきました。

この試合の選抜メンバーも6年生中心で挑みましたが、試合開始早々に失点したことで、選手たちもピッチ内では柴宮 SSS は強いなあといった雰囲気になってしまい、自信をもって挑む選手、受け身になってしまっている選手に分かれ、この状況を打開するには緊張というより試合に出たくてしょうがないフレッシュな5年生の投入が流れを変えてくれるのではと信じ、少し相手の選手に対応できていなかった6年生を交代しました。少し押しされ気味の状況から諦めること無く果敢に攻め込み、シュートまで持ち込むプレーが出てたので、得点できれば流れがアーレに傾くことを願いながら見守っていました。

前半は追いつくことができず、0:1で終わり、後半もどちらが点をとってもおかしくない拮抗した戦いでしたが、このまま得点できずに終わってしまうのではと感じていたそのとき、中盤からミドルシュートを放ったボールが相手のハンドとなり、これを同点にできる大きなチャンスと中の選手や外の観客も感じる状況をキャプテンがしっかり豪快なフリーキックを決めてくれて同点に追いつき痺れさせられました。しかし、その後、すぐに自分たちのミスから失点、つかの間の喜びとなったところ、しかし、諦めずに攻め込み、すぐに追いつき、シーソーゲーム。PK戦になるかと思われた終わり間際に、劇的な得点を5年生が6年生へのプレゼントゴールを奪い見ていた人たちがアーレの底力を感じることができる素晴らしい感動的な勝利となりました。

この試合は出られなかった5年生もいましたが、みんなで勝ち取ったような今後の成長に大きく繋がる試合になったと思います。とにかく柴宮 SSS さんが強かったので良く勝ちきったといった内容の試合でした。





決勝戦は3試合を接戦で勝ち抜いてきた行健 SSS さんとの戦いとなりました。逆ブロックだったので、どのようなチームなのか見ることができずに挑むこととなりました。しかし、選手たちは準決勝でやりきった後の興奮さめやらない様子だったので、この勢いで全てを出し切って自分たちでしっかり戦い、優勝を勝ち取ってきてほしいと伝えました。選抜メンバーは準決勝で出られなかった選手が入り、それぞれがしっかりと自分のプレーを出し切り、危なげなく勝利して見事「優勝」することができました。

1日だけの3試合といった大会でしたが、この日の様々な経験は大きく成長できる貴重な機会になったと思います。

- 試合に挑む前の過ごし方。
- 勝っている時負けている時の試合の運び方（気持ちの作り方）
- 得点ができない時の焦りのコントロール
- 昼食は食べ過ぎると動けなくなる
- 芝生でのボール感覚
- 今の自分に足りないところ etc





この大会での優勝できたことは素晴らしい結果だと思います。
6年生達で出場できる試合が少なくなってきましたが、残りの1大会、1大会を大切に、中学生へのステージの肥やしにして欲しいと思います。

常葉SSS様、このような素晴らしい大会にお誘い頂きありがとうございました。
また来年も是非お誘いをよろしくお願いいたします。
大会関係者の皆様、大変お世話になりました。
ご父兄の皆様、コロナ感染が心配な環境の中でご理解をいただき、子どもたちを参加させて頂き、暖かい応援をありがとうございました。

コーチ：設楽

